

# 最近の統計調査結果から

2024年11月

【2024年11月1日～11月30日】

## 統計調査報告

### ◇生活保護の被保護者調査—令和6年8月分概数—

11月6日 厚生労働省発表

- 生活保護の被保護実人員は 2,010,289 人（対前年同月 0.6%減）、被保護世帯は 1,652,380 世帯（同 0.0%増）となった。
- 世帯類型別現に保護を受けた世帯数<sup>注</sup>をみると、高齢者世帯 907,513 世帯、母子世帯 62,436 世帯、障害者・傷病者世帯計 412,190 世帯、その他の世帯 261,007 世帯となった。

注 月中に1日（回）でも生活保護を受けた世帯である。（保護停止中の世帯を除く。）

### ◇毎月勤労統計調査—令和6年9月結果速報等—

11月7日 厚生労働省発表

- 現金給与総額は前年同月比 2.8%増となった。うちきまって支給する給与は 2.4%増（一般労働者 2.2%増、パートタイム労働者 1.8%増）、特別に支払われた給与は 16.1%増となった。きまって支給する給与の内訳は、所定内給与が 2.6%増、所定外給与が 0.4%減となった。
- 実質賃金（現金給与総額）は前年同月比 0.1%減、実質賃金（きまって支給する給与）は 0.5%減となった。
- 共通事業所<sup>注</sup>による現金給与総額は前年同月比 2.9%増（一般労働者 3.1%増、パートタイム労働者 1.8%増）となった。
- 総実労働時間は前年同月比 2.5%減となった。うち所定内労働時間は 2.6%減、所定外労働時間は 3.0%減となった。
- 製造業の所定外労働時間（季節調整済指数）は前月比 0.1%減となった。
- 令和6年の夏季賞与（令和6年6月～令和6年8月の「特別に支払われた給与」のうち、賞与として支給された給与を特別集計したもの）は、支給事業所における労働者一人平均で 414,515 円（前年比 2.3%増）、賞与支給のない事業所を含めた全労働者一人平均賞与額は 349,436 円（同 5.7%増）となった。

注 「前年同月分」及び「当月分」とともに集計対象となった調査対象事業所。平成30年から部分入替え方式の導入に伴い、常に一部の調査事業所が前年も調査対象となっていることから共通事業所に限定した集計が可能となり、共通事業所による前年同月比が参考提供されている。

※11月22日に毎月勤労統計調査令和6年9月結果確報が公表されている。

### ◇景気動向指数—令和6（2024）年9月分速報—

11月8日 内閣府発表

- C I（速報値・令和2（2020）年=100）の一致指数は前月と比較して 1.7 ポイント上昇の 115.7、3か月後方移動平均値は 0.53 ポイント上昇、7か月後方移動平均値は 0.47 ポイント上昇となった。一致指数の基調判断は「景気動向指数（C I 一致指数）は、下げ止まりを示している。」（前月とかわらず）となった。なお、先行指数は前月と比較して 2.5 ポイント上昇の 109.4、遅行指数は前月と比較して 1.5 ポイント下降の 106.4 となった。

※11月25日に景気動向指数速報からの改訂状況（令和6（2024）年9月）が公表されている。

### ◇家計調査報告—2024年（令和6年）9月分—

11月8日 総務省発表

- 勤労者世帯（二人以上の世帯。以下同じ。）の実収入は、前年同月比で実質 1.6%の減少となった。
- うち勤め先収入は、前年同月比で実質 1.6%の減少となった（うち世帯主収入 実質 2.5%の減少、世帯主の配偶者の収入 実質 5.1%の増加）。
- 勤労者世帯の消費支出は、前年同月比で実質 3.9%の減少となった。

◇労働力調査詳細集計—2024年(令和6年)7~9月期平均—

11月12日 総務省発表

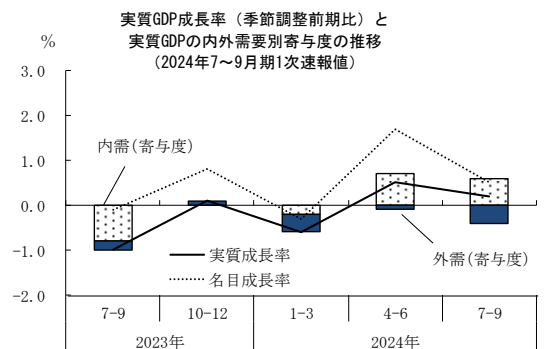
- ・役員を除く雇用者 5,772 万人のうち、正規の職員・従業員は 3,656 万人で前年同期に比べ 39 万人の増加、非正規の職員・従業員は 2,116 万人で 17 万人の減少となった。
- ・非正規の職員・従業員が現職の雇用形態について主な理由は、男性では「自分の都合のよい時間に働きたいから」が 222 万人で前年同期に比べ 1 万人の減少、「正規の職員・従業員の仕事がないから」が 86 万人で 8 万人の減少などとなった。女性では「自分の都合のよい時間に働きたいから」が 500 万人で 5 万人の減少、「家計の補助・学費等を得たいから」が 279 万人で 13 万人の減少などとなった。
- ・失業者は 196 万人で前年同期に比べ 7 万人の減少となった。失業期間別にみると、失業期間が「3 か月未満」は 82 万人で 4 万人の増加、「1 年以上」は 50 万人で 11 万人の減少となった。
- ・最も包括的に未活用労働を捉えた未活用労働指標 4 (LU4) <sup>注</sup>は 5.9%で前年同期に比べ 0.3 ポイントの低下、男性は 4.8%で 0.1 ポイントの上昇、女性は 7.2%で 0.8 ポイントの低下となった。

注 未活用労働指標 4 (LU4) (%) = (失業者 + 追加就労希望就業者 + 潜在労働力人口) ÷ (労働力人口 + 潜在労働力人口) × 100

◇2024年7~9月期四半期別GDP速報—(1次速報値)—

11月15日 内閣府発表

- ・実質GDP(国内総生産)の成長率(季節調整済前期比)は 0.2% (年率 0.9%) となった。
- ・GDPの内需、外需別の寄与度は、内需(国内需要)が 0.6%、外需(財貨・サービスの純輸出)が -0.4% となった。
- ・雇用者報酬(季節調整系列)の前期比変化率は実質 0.0%、名目 0.4% となった。



◇鉱工業生産指数—2024年9月(確報)—

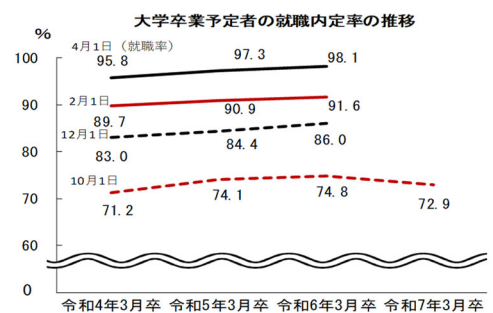
11月15日 経済産業省発表

- ・鉱工業生産(季節調整済指数、2020=100)は 101.3 で前月比 1.6%の上昇となった。速報(101.1)と比べると上昇修正であった。

◇令和7年3月大学等卒業予定者の就職内定状況調査(10月1日現在)

11月15日 厚生労働省発表、文部科学省発表

- ・就職内定率は、大学(学部)は 72.9% (前年同期比 -1.9 ポイント)、短期大学は 42.3% (同 +2.4 ポイント)、大学等(大学、短期大学、高等専門学校)全体では 70.8% (-1.5 ポイント)、大学等に専修学校(専門課程)を含めると 68.8% (同 -1.4 ポイント) となった。



◇第19回中高年者縦断調査(中高年者の生活に関する継続調査)

11月20日 厚生労働省発表

- ・第1回調査から18年間の就業状況の変化をみると、「正規の職員・従業員」は、第1回 38.7%から第19回 2.4%と減少している。また、「パート・アルバイト」は、第1回 17.0%から第19回 13.2%、「自営業主、家族従業者」は第1回 15.2%から第19回 11.5%と減少傾向となっている。

注 第19回調査では、平成17年度の第1回調査から協力が得られた15,523人について集計しており、調査対象者の年齢は、68~77歳となっている。「仕事をしている」割合は、第1回調査では81.9%、第19回調査では35.6%となっている。

## ◇消費者物価指数全国—2024年（令和6年）10月分—

11月22日 総務省発表

- ・消費者物価指数（2020年＝100）は、総合指数は109.5で前年同月比2.3%の上昇、生鮮食品を除く総合指数は108.8で2.3%の上昇、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は108.1で2.3%の上昇となった。

## ◇毎月勤労統計調査—令和6年9月分結果確報—

11月22日 厚生労働省発表

- ・現金給与総額は前年同月比2.5%増となった。うちきまって支給する給与は2.2%増（一般労働者2.4%増、パートタイム労働者2.5%増）、特別に支払われた給与は12.4%増となった。きまって支給する給与の内訳は、所定内給与が2.5%増、所定外給与が0.9%減となった。
- ・実質賃金（現金給与総額）は前年同月比0.4%減、実質賃金（きまって支給する給与）は0.7%減となった。
- ・共通事業所<sup>注</sup>による現金給与総額は前年同月比2.9%増（一般労働者3.0%増、パートタイム労働者2.0%増）となった。
- ・総実労働時間は前年同月比2.7%減となった。うち所定内労働時間は2.7%減、所定外労働時間は3.0%減となった。
- ・製造業の所定外労働時間（季節調整済指数）は前月比0.6%増となった。

注 「前年同月分」及び「当月分」とともに集計対象となった調査対象事業所。平成30年から部分入替方式の導入に伴い、常に一部の調査事業所が前年も調査対象となっていることから共通事業所に限定した集計が可能となり、共通事業所による前年同月比が参考提供されている。

## ◇景気動向指数 速報からの改訂状況—令和6（2024）年9月分—

11月25日 内閣府発表

- ・C I（令和2（2020）年＝100）の一致指数は前月と比較して1.3ポイント上昇の115.3、3か月後方移動平均値は0.40ポイント上昇、7か月後方移動平均値は0.41ポイント上昇となった。一致指数の基調判断は「景気動向指数（C I一致指数）は、下げ止まりを示している。」（速報時点とかわらず）となった。なお、先行指数は前月と比較して2.2ポイント上昇の109.1、遅行指数は1.2ポイント下降の106.7となった。

## ◇建設労働需給調査結果（令和6年10月調査）

11月25日 国土交通省発表

- ・全国の8職種<sup>注1</sup>の過不足率<sup>注2</sup>は、2.3%の不足となり、前月と比べ0.7ポイント不足幅が拡大（前年同月と比べ0.4ポイント不足幅が拡大）となった。

注1 型わく工（土木）、型わく工（建築）、左官、とび工、鉄筋工（土木）、鉄筋工（建築）、電工、配管工

注2  $(\text{確保したかできなかった労働者数} - \text{確保したが過剰となった労働者数}) / (\text{確保している労働者数} + \text{確保したかできなかった労働者数}) \times 100$  マイナスは過剰、プラスは不足を示す。

## ◇消費者物価指数東京都区部—2024年（令和6年）11月分(中旬速報値)—

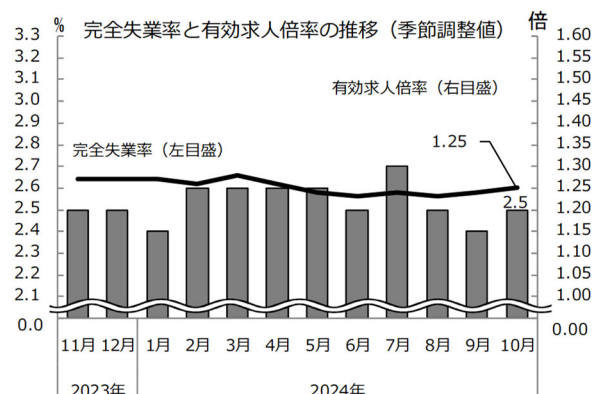
11月29日 総務省発表

- ・消費者物価指数（2020年＝100）は、総合指数は109.3で前年同月比2.6%の上昇、生鮮食品を除く総合指数は108.3で2.2%の上昇、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は107.7で1.9%の上昇となった。

## ◇労働力調査（基本集計）—2024年（令和6年）10月分—

11月29日 総務省発表

- ・完全失業率（季節調整値）は2.5%で前月に比べ0.1ポイント上昇、男性は2.8%で0.1ポイント上昇、女性は2.1%で前月と同率となった。
- ・完全失業者数（季節調整値）は171万人で前月に比べ3万人の増加となった。
- ・雇用者数（原数値）は6,166万人で前年同月に比べ77万人の増加となった。
- ・役員を除く雇用者（5,832万人）のうち、正規の職員・従業員数は3,688万人で前年同月に比べ77万人の増加、非正規の職員・従業員数は2,144万人で4万人の増加となった。



## ◇一般職業紹介状況—令和6年10月分—

11月29日 厚生労働省発表

- ・有効求人倍率（季節調整値）は1.25倍で、前月に比べて0.01ポイント上昇となった。
- ・有効求人数（季節調整値）は前月に比べて0.2%増、有効求職者数（同）は0.7%減となった。
- ・新規求人倍率（季節調整値）は2.24倍で、前月に比べて0.02ポイント上昇となった。
- ・正社員有効求人倍率（季節調整値）は1.02倍で、前月に比べて0.01ポイント上昇となった。

- ◇第12回 21世紀成年者縦断調査（平成24年成年者） 11月29日 厚生労働省発表
- ・第1回調査時に独身であった者のこの11年間の結婚・出生の状況別に職業観をみると、女では「結婚していない」者に比べ「結婚した・出生あり」の者は、「家計に余裕をもつため」が高い。
  - ・この11年間に子どもが生まれた同居夫婦（出産前に妻に仕事あり）について、出産後の夫の家事・育児時間別に出産後の妻の就業状況をみると、平成24年成年者及び平成14年成年者ともに、夫の平日の家事・育児時間が長いほど、出産後の妻の「同一就業継続」の割合が高くなる傾向がある。

- ◇鉱工業生産指数—2024年10月分（速報）— 11月29日 経済産業省発表
- ・鉱工業生産（季節調整済指数、2020=100）は104.3で前月比3.0%の上昇。製造工業生産予測調査によると、11月、12月ともに低下を予測している。基調判断は「生産は一進一退で推移している。」（前月とかわらず）となった。

## 月例経済報告等

- ◇月例経済報告—令和6年11月— 11月26日 内閣府発表
- 景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。（前月とかわらず）
- ・個人消費 一部に足踏みが残るものの、持ち直しの動きがみられる。（前月：一部に足踏みが残るものの、このところ持ち直しの動きがみられる）
  - ・設備投資 持ち直しの動きがみられる。（前月とかわらず）
  - ・輸出 おおむね横ばいとなっている。（前月とかわらず）
  - ・生産 このところ横ばいとなっている（前月とかわらず）
  - ・企業収益 総じてみれば改善している。（前月とかわらず）
  - ・業況判断 改善している。（前月とかわらず）
  - ・雇用情勢 改善の動きがみられる。（前月とかわらず）
  - ・消費者物価 このところ上昇している。（前月：緩やかに上昇している）

「最近の統計調査結果から」は、当機構ホームページにも掲載しています。  
 また、労働経済に関する指標をコンパクトにまとめた「主要労働統計指標」も作成しています。  
<https://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/index.html>  
 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 調査部（統計解析担当）